空間情報サービス株式会社の紹介

起業

当社は、昭和38年に石井測量株式会社として測量業を営む目的で設立し、平成20年に社名を空間情報サービス株式会社に変更し現在に至ります。

石井測量の時代

前身である石井測量の時代には、経済活動のベースとなる公共のインフラを整備する工程（測量→設計→工事）の最上流の測量を担うなかで、仕事は、主に国、県、市町村等から受託していました。

参考までに、最大な公共インフラとして道路がありますが、千葉県内の道路の延長は概ね4万ｋｍを超え、創業以来その道路の新設或いは改良を担ってまいりました。最近では公共のインフラが整いつつあることから、その維持管理に仕事の内容が移りつつあります。

空間情報サービスの時代

社名を空間情報サービスに変更したことについて、測量は比較的早い時期からコンピュータを利用するなかで、面積を計算することや図面の作成等に利用するのみで、最近では普通に用いられる生産性向上や新たなサービスの創造といった取組みに対しては遅れていました。このことについて測量に情報技術の適用が必要と判断し、地理空間情報技術（情報技術）に対応すべく、組織として情報処理部門及びシステム開発部門を設け、社名についても現在の空間情報サービスに変更しました。

地理空間情報とは

地理空間情報では、地図に情報を紐づけ、情報を台帳と地図の両方から表現する考え方で、地理情報システム（GIS：Geographic Information System）というコンピュータ利用技術を用います。

当社では、情報処理部門で地図やデータベースを整備し、システム開発部門で地理情報システムを開発し、県や市町村に提供しています。また、喫緊の課題としての人材不足に対しては、海外の人材を活用し、測量士あるいはソフトウエア技術者を養成し、人材不足を解消しています。

環境的に求められる国土強靭化

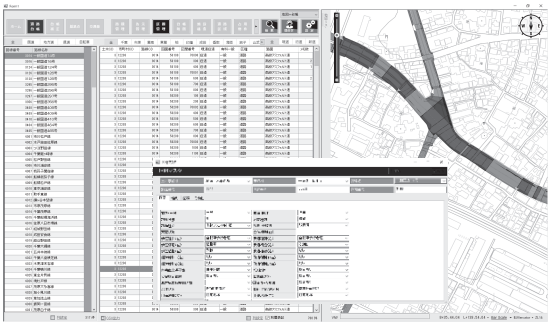
近年大規模な災害が心に残ります。3.11の東北地方太平洋沖地震や熊本地震等をはじめ激甚化の傾向にある豪雨災害では最近の広島の豪雨災害が浮かびます。国は、これらの災害に対し国土強靭化の取組みを進めています。

国土強靭化については、災害前の取組みと災害後の迅速な復旧があるなか、当社では災害前の取組を支援するシステムを開発し、更に災害後の取組としての測量技術を蓄積し、自治体の災害に対する備えを支援しています。

おわりに

私達は、節目として70年、或いは100年企業を目指すなかで、地理空間情報技術を通じて地域社会に貢献する企業を目指しています。

（地理情報システムイメージ）
＜道路管理システムの例＞



〒260-0013 千葉市中央区中央三丁目10番6号 北野京葉ビル5階
空間情報サービス株式会社
TEL 043-222-6694 FAX 043-225-7958
http://www.i-kjs.com